

知事と語る会

主な質疑応答

質問＝町民

回答＝知事

農林水産物の輸出に力を

質問 日本の社会は少子高齢化が進み、子どもたちの魚離れが指摘されています。魚の消費量は10年後には2割くらい落ちるだろうというなかで、これからは海外にも目を向けていかなければならないと思っています。

そこで県の対応についてのお願いですが、農林水産物の輸出に関して、もっと力を入れていただきます、スピー

ディーに対応していただきたい。

回答 東町漁協の魚の輸出はいろいろな形で努力をしてこられました。EU諸国、香港ですとかアジアをにらんだ輸出の体系をとろうとしておられます。アジアの国々に対して、ブリとか鹿児島県の農産物であるとか、特に中国等に向かつて輸出されるのは近いうちにくる話だと思っています。少なくとも10年くらい後には、そういうことが活性化するのではないかと思います。

従いまして、鹿児島県の農林水産物は地産地消というのでも良いのですが、地産他消という他のところで食べていただくというのが本来の進むべき方向かと思っています。

販路を開拓するためのイベントでありますとか、できれば上海に物産センターでも置いてこれから長期的な意味での、鹿児島県の農水産物の輸出体制をとらなければならぬと考えております。県としてできることは、何でも協力いたします。なによりもこの

地域で良いブリをつくっていただいて、世界中に輸出するくらいの志でやっていただければありがたいと思います。

観光地の整備と林業振興

質問 長島の観光拠点となるのは黒之瀬戸大橋周辺ではないかと思っています。そこで物を売ったり、休憩したりする場所ばかりではなく、釣堀とか釣った魚を刺身にしてお土産にしてもって帰れるというような場所を考えていただきたい。

そして9、800万年前クビナガリュウがいた獅子島を観光の目的にして、船で遊覧をしながら獅子島へ行って、1日遊んで帰るというようなルートもできます。そのようなことで、努力していただきたい。

次に、林業に対する考え方は、日本の木材はどん底に陥っています。林業へのお金の使い方も考えていただいで、山を持つている方々が「よかつたな」といわれるような施策をお願いします。

回答 県は「魅力ある観光地づくり事業」として観光地の整備を進めておりまして、今年12億円であります。

長島町からは3カ所要望があり、一つは取り上げたところ。二つ目が黒之瀬戸の公園の整備でした。

現在、駐車場のところの面積が十分でない、谷になつていて部分を埋めて駐車場を拡張しようという話は現実の課題としてあります。米ノ津川の河川改修事業で大量の土砂がでますから、それを使って拡張することによって、駐車場の整備ができるのではないかと思います。来年度くらいから、そういう事業が具体化するのかなと思っています。

そして、その上の方に車で上がるような道路を取り付けたいという話でありました。確かにあそこにとると、黒之瀬戸の橋をはさんで両方が見えますし、パノラマ的な素晴らしい景観の所でもありますので、長島の売りどころと思っています。そういうこと

で今後、努力をしていきたいと思っています。釣堀等の話は、民間レベルの話として整備していくのかなと思います。

獅子島の化石の話は、もう少し学問的にトレースをした上で、観光客用の資源としての活用も十分考えられると思いますので、知恵を出さないといけないと思います。

林業の問題は、日本全国、鹿児島でも産業としては苦しい状況になっていまして、山が非常に荒れてきています。

国は林野庁が地球環境保全の観点から入ってきましたが、枝打ちとか下刈りとか、そういうことをやるお金を大々的に予算づけしています。新しい山の再生に向かつての動きが現実のものになったのだからと考えています。林業全体では、鹿児島は年々山が使われなくなっています。木材の価格は低迷していますが、切ればきるほど損をするという状況のもとではあります。だんだんと木材の価格も持ち直してきまして、国産材の安定的な利用を図る時代